

ECOTACKLE エコ・タックルレギュレーション 2008

ECOタックル・レギュレーション2008



■ライン

リーダー(先糸)に30cm以上のFeco認定ラインを使用すれば既存のラインを使用することができる。

※1) キャロライナリグなどでラインの途中にシンカーやスイベルをセットする場合も基本的な考えは同じ。フックから30cm以上はFeco認定ラインを使用しなければならない。

※2) ダウンショットリグは、フックから上30cmと、フックからシンカーまでの部分にFeco認定ラインを使用しなければならない。

※3) リーダーの接続部に瞬間接着剤を付けてよい。

■シンカー

Feco認定製品に限る。

※1) 多数の製品がFeco認定を受けているが、認定される前から市販されている製品は同一製品であってもパッケージにFecoシールが貼られていないものは使用できない。

■ジグヘッド

Feco認定製品に限る。

※1) Feco認定シンカーを利用した自作ジグヘッドは使用可。ただし、ウエイト部分を溶かしたり、形状をかえてはならない。

※2) ジグヘッドを塗装して使用する場合、本体に「F」の刻印がない製品もしくは塗装して「F」マークが見えなくなった場合は、その上に「F」のスタンプを押さなければならない。なお、塗装した場合は事前にサンプル品を1点添えてNBC本部へ使用申請すること。

■ソフトルアー(ワーム類)

Feco認定製品と、Feco認定マテリアルで作られた自作ワームに限られる。

※1) ワームはカットして使用できる(ワームの全長制限なし)。

※2) 複数のワームを溶かしたり、接着剤を使用してつなぎ合わせてはいけない。

※3) 複数のワームを1つのフックにセットすることができる。

※4) 自作ワームを使用する場合もFeco認定を必要とする。

■ハードプラグ

現段階ではハードプラグの使用規制はない。

※1) ソフト(曲がる)素材のプラグはソフトルアーの規則に準じる(Feco認定が必要)。

※2) ボディーの一部にソフト素材を使用したプラグは、次の条件を満たしていれば使用が認められる。[<a>](#)シリコン系およびエラストナーを使用したソフト素材であること(塩ビ素材は使用不可)。[](#)ソフト素材部分の長さがボディー全長(リップもボディーに含む)の3分の1以下であること。

※3) ボディーにブレードを取り付けてよい。

■スピナーベイト・バズベイト

Feco認定製品に限る。

※1) Feco認定ジグヘッドを使用したジグスピナーは使用可。

※2) シリコン系ラバースカートを装着してもよい。

※3) ブレードは自由に交換でき、ブレードを取り付けるためのアームを溶接等で取り付けててもよい。

■ラバージグ・フェザージグ

Feco認定製品に限る。

※1) トレーラー部分はFeco認定製品を使用しなければならない。

※2) シリコン系ラバースカートを装着してもよい。

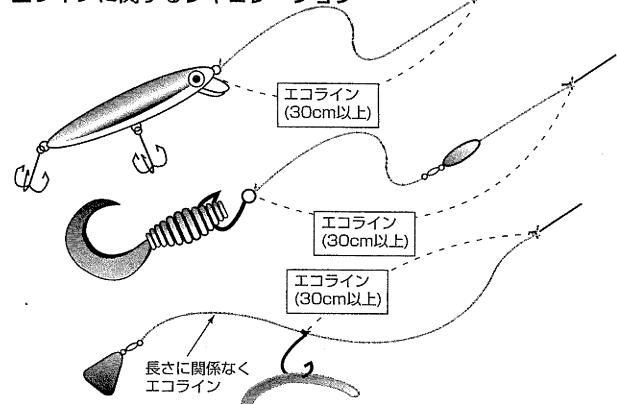
■その他のルアー

溪流などよく使われるスピナーやスプーン、またメタルジグなどもFeco認定製品に限る。ポークやフライ、フェザーなどの自然素材においても、保管液や着色料の問題があるためFeco認定製品に限る。

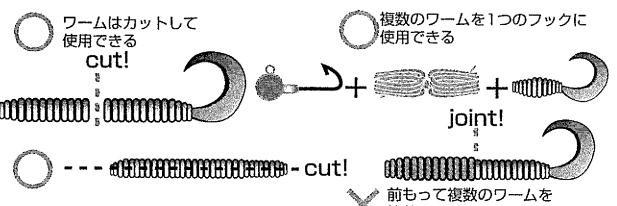
■エンジンオイル

Feco認定の生分解オイルに限る。

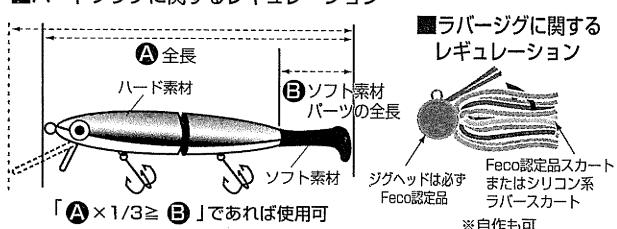
■ラインに関するレギュレーション



■ワームに関するレギュレーション



■ハードプラグに関するレギュレーション



■ラバージグに関するレギュレーション



■エコタックル・ルールの補足説明

<注意事項>

1) 使用が規制されているタックル類は一切ボートに持ち込んではならない。陸釣りの場合は、Feco認定タックル以外のタックルは持ち歩かないこと。

2) Feco認定マークが付いているルアーおよびジグヘッド、シンカーの保管方法は自由とし、タックルチェック前のセッティングを認める。なお、Feco認定マークのない製品は製品パッケージに入れて保管し、タックルチェック後にセッティングしなければならない。一部集魚材などは製品本体ではなく外箱にFecoシールが貼られているものがあり、このような製品は外箱に入れたまま保管すること(製品本体に“F”マークが入っているものはこの限りではない)。

<使用可の小物類> *Feco認定品が製品化されるまでの期間。

1) ベグ(ワームがフックからズれないように防止する目的で使用する場合)。

2) キャロライナリグのビーズ。

3) 目玉シール。

■活性剤

Feco認定製品に限る。

■小物類

テキサスリグの「シンカースッパー」および、ワッキーリグに使用するフック外れ防止用の「伸縮チューブ」は、Feco認定製品に限る。

JB・NBCトーナメントのエコタックル大会はすべてFeco認定ラインの使用は義務付けませんが、できる限りFeco認定ラインをご使用ください。